

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.128号> 2021年11月1日 発行

ごあいさつ



刈谷市議会議員

爽りに湧いた季節も、日暮れの早さと共に足を速め、紅葉は盛りを迎えています。

さてこの度の衆議院選挙では経済成長の恩恵を受け難い 中・低所得者層への分配が大きな争点となりました。コロナ禍で疲弊した経済や暮らしの再建に一刻も早く取り組み、30年もの間 ほぼ横ばいとなっている平均賃金アップに向け着手して頂きたいと思っております。

去る22日、政府はエネルギー基本計画を3年ぶりに改訂し、再生可能エネルギーを最優先に導入する方針を明記しました。廃棄される街路樹の枝や間伐材などを燃料として使えるバイオマス発電や太陽光・風力等再エネ由来の電気を余すところなく使い切るためには全国で融通し合える送電網の強化が必要ですが、再エネ先進国ではこの初期投資を必要不可欠と捉え、既に国内消費量60%以上もの成果を上げた国もあります。

地球が育てて来た太古からの資源を枯渇させることなく、生態系にも優しい 電力の生産活用を望みます。

私共 市民クラブ会派も今月4日、再エネ利用や低炭素水素活用に取り組む豊田自動織機高浜工場を視察し、本市の低炭素なまちづくりの施策に活かして参ります。

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

11月 3日 (水・祝) 文化の日	陽差しが柔らかな黄金色を帯び 厳しい
7日 (日) 立冬	季節の前、東の間の穏やかさを見せます。
15日 (月) 七五三	日向を選んで歩くようになった毎日、
22日 (月) 小雪	枯葉の絨毯を踏み鳴らして行き交う人の
いい夫婦の日	挨拶にも白い息が…首元を温かく 背筋を
23日 (火・祝) 勤労感謝の日	伸ばして、冬将軍に立ち向かきましょう。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



心なしか不穏な雲が流れる晩秋の空。恐竜が思いきり首を伸ばして、はぐれた仲間を探しているよう…いつもは子供達に人気の公園です。さて、ここはどこでしょう？



10/1発行の<No.127>の答えは、元町集落西端、緒川城主・水野貞守により築かれたとされる刈谷古城の跡地。対岸に東浦を望む15世紀の平城は跡形もなく 台地が面影を残すのみです。

「シャーロック・ホームズの世界」への招待☆ (Chapter2)

ベル博士は初めて診る患者の素性をピタリと言い当てました。まるで魔法のようで、患者は初め戸惑いつしか深く信頼しました。こうした光景は博士の助手の若い医学生にも強烈な印象を与えます。彼の名は、アーサー・コナン・ドイル。『いいかねドイル君、正確な診断に最も大切なのは観察だよ』それがベル博士の口癖です。このジョセフ・ベル博士こそ、シャーロック・ホームズのモデルとなった人物、そしてそこにはもう一人、ベル博士と共に犯罪捜査をしていたエジンバラ大学の同僚、ヘンリー・リトルジョン博士の存在が大きな影響を与えます。彼はベル博士より11才年上で、エジンバラの初代保健局長を務めた人物でした。専門は法医学、その講義は一風変わっており、黒板に自分が関わった犯罪現場の資料を貼り付け、そこで体験したことを生々しく語るものだったため、学生達に大変人気がありました。ドイルもそんな彼に関心を持ち、熱心に耳を傾けました。

19世紀ビクトリア朝、人口が急増したスコットランドの都市部では経済発展の陰で貧富の差が拡大。多くの人が行き交う表通りに対し、人目のない暗がりには毎日のように犯罪が起き、真相の多くは闇に…そこへ 科学的捜査が登場します。

10月の行事予定

11月 4日 (木) ユタカ議員協議会 永井県議グループ研修会
8日 (月) 全ト政策推進議員連絡会総会
15日 (月) 12月議会党派説明会・議会ICT化研究会
25日 (木) 臨時議会
28日 (日) 自主防災会中部地区合同防災訓練

“まじめにコツコツ、即行動”
頑張ります!!



10月のフットワーク

第8期 刈谷市介護保険計画・刈谷市高齢者福祉計画を紹介します。

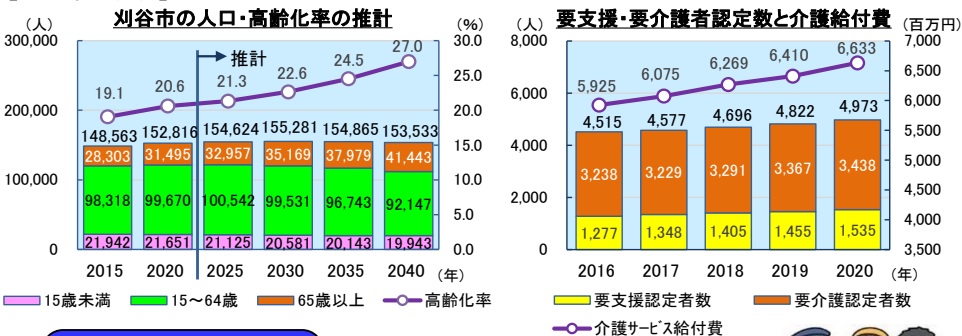
【計画の目的】 現役世代が急減することが見込まれている2040年も念頭に置き、高齢者自身も生きがいや役割を持って、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちづくりを目的に、新たな制度改正にも対応した計画を策定。



団塊の世代の全ての人々が75歳以上となる2025年度を見据え、中・長期的な視点で計画。

H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027		R22 2040
【計画期間】(年度)			第8期(本計画)								
第7期			第9期								

【刈谷市の現状】



計画の基本理念と目標

『住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまち かりや』
～支え合い みんなで創る 持続可能な共生社会～



計画の基本目標	施策項目(重点施策は下線)
1 生涯現役を実現する介護予防推進	①健康づくりの推進 ②高齢者の社会参加や就労等の促進 ③生活支援・介護予防サービスの充実
2 地域での暮らしを支える体制整備	①地域包括支援センターの機能充実 ②高齢者福祉サービス等の充実 ③住民主体の通いの場の充実 ④高齢者に配慮した住まいの充実 ⑤高齢者の移動支援の充実 ⑥高齢者虐待への対応
3 在宅医療・介護連携の推進	①医療・介護連携のための基盤整備 ②医療・介護連携のための相互理解の促進
4 認知症施策の充実	①認知症の人を支える地域環境づくり ②認知症の人や家族への支援体制の強化
5 安定的な介護保険制度の運営	①多様なサービスの提供と利用支援 ②サービスを支える基盤の強化 ③介護支援専門員の資質向上 ④介護人材の確保・育成 ⑤災害や感染症対策等の推進

前頁の続き

“基本目標に対する重点施策の具体的な取り組み”

基本目標	重点施策	具体的な取り組み内容
1	①③ 介護予防体制の充実と生活支援の担い手づくりの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ げんきプラザの拡充 健康づくり・介護予防の観点から「げんきプラザ」のサテライト施設の整備を推進。 ■ 担い手活動による介護予防の推進 介護予防ポイント事業の拡充と担い手の増加を図り、生活支援サービスの提供体制を充実。
2	①⑤ 高齢者の相談体制や移動支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基幹型地域包括支援センターの整備 6つの地域包括支援センターの中核センターを整備し、センター間の調整や統括支援を行う。 ■ 地域に密着した公共交通システムの整備 買い物、通院等の外出を支援する乗り合い交通システム等を活用した高齢者の外出支援策を検討。
3	①② 在宅生活の継続支援のための医療・介護連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 医療・介護・福祉ネットワーク「えんじョネット刈谷」を活用した情報提供体制の構築を推進。 ■ 医療・介護関係者の研修 「医療・介護多職種連携マニュアル」の活用を通じ、在宅生活が続けられるよう関係団体等との連携を強化。
4	② 認知症の人や家族への早期対応の充実と支援策の周知	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症ケアバスの普及 「認知症ケアバス」を充実させ、認知症サポーター養成講座等の普及を図りスムーズなサービス提供を支援。 ■ 認知症初期集中支援チームの充実 認知症が疑われる人やその家族に関係機関が早期に関われるよう支援体制を構築。
5	④ 介護保険サービスを支える人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な人材の確保・育成の支援 市独自の介護入門研修の開催や介護職員の各種研修費用の助成を行うなど人材確保・育成の支援を図る。 ■ 介護職の魅力向上 介護職の魅力ややりがいに関する情報発信や学校での啓発等、若い世代に介護職への就労意欲に繋がる取組みの推進。

ちょこっと情報 刈谷ハイウェイオアシスの園路橋の名称が決まりました。

応募総数292件の中から厳正審査の結果

“オアシスレインボー”に決定!

令和3年度末に供用開始となるスマートインターチェンジに合わせ、エレベーターを利用した部分的な橋使用を開始する予定。

